



平成29年5月2日  
海上保安庁

## 明神礁付近の海水面に変色水と気泡を確認 (ベヨネース列岩の東北東約10km)

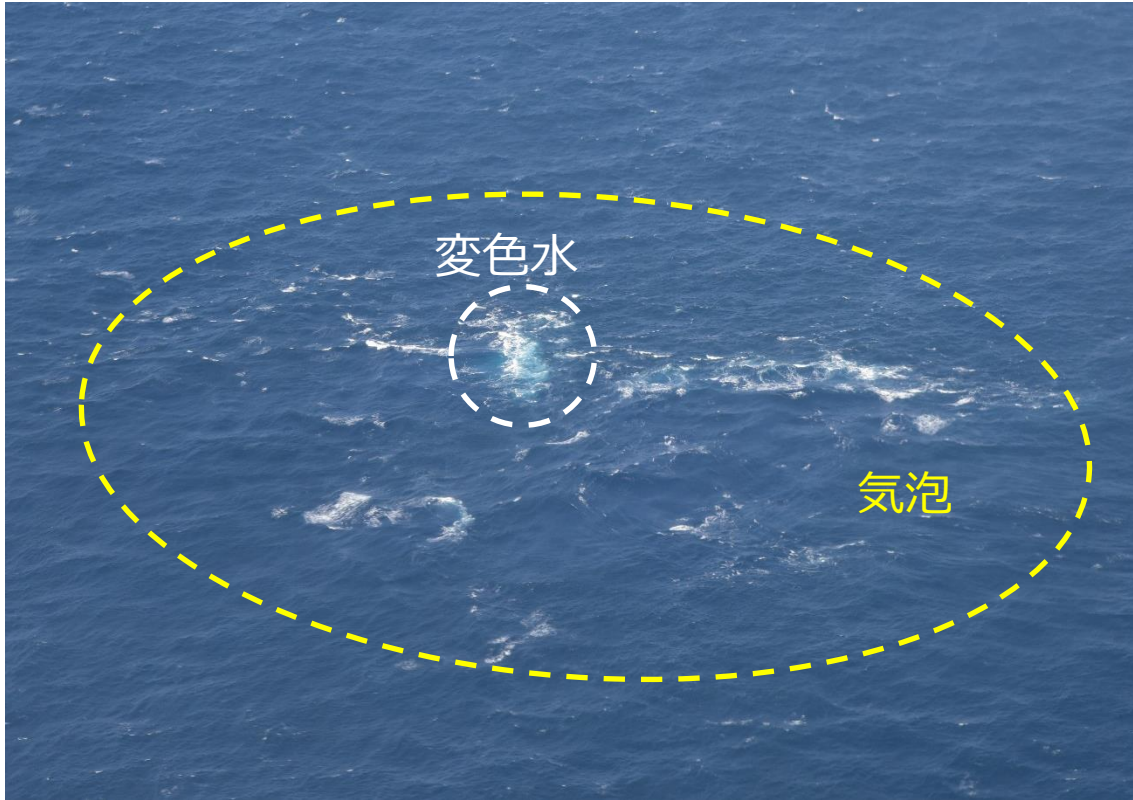
5月2日午後3時から午後3時10分の間、当庁羽田航空基地所属航空機MA722により、明神礁の火山活動の観測を行いました。その結果、明神礁付近の海水面に変色水と気泡を確認しました（位置：北緯31度54.5分、東経140度01.5分）。明神礁付近で変色水が確認されたのは3月25日の観測以来です。

### 【調査結果】

- ・変色水：直径 約30m、薄い青白色
- ・気泡：直径 約300mに分布

同乗した東京工業大学火山流体研究センターの野上健治教授からは、「気泡が前回の観測より明瞭になっており、ガス放出量が増大している可能性が高い。気泡が分布している範囲の中心点付近には青白色の変色域が見られた。これまでに実施した観測結果と総合すると、マグマからの脱ガスがいつそう進行していると考えられ、熱水活動がより活発になっている可能性がある。」とのコメントが得られました。

引き続き、航行警報により付近航行船舶に注意を呼びかけています。



明神礁付近の変色水と気泡の様子（5月2日撮影）

【参考】 明神礁について

- ・東京の南方約400kmにある海底活火山。頂部の水深は約50m。
- ・度々噴火を繰り返しており、昭和27～28年には大噴火した。

